

カナダの金融市場動向 Weekly Report

【2018年12月15日～2018年12月21日の推移】

【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドルは、対円で下落しました。カナダ5年国債利回りは低下しました。

米国株の下落やFOMC(米国連邦公開市場委員会)で来年の利上げ見通しが引き下げられたことを受け、カナダの金利は低下しました。また、円高が進行したことでカナダ・ドル円相場は下落しました。原油価格が軟調に推移したことも、相場の重石になりました。

先週は、CPI(消費者物価指数)、小売売上高が発表され、双方ともに軟調な結果になりました。CPIに関しては、ガソリン価格の下落を受け大幅に低下しており、コアCPIは、カナダ銀行(中央銀行)の誘導目標を下回る結果になりました。

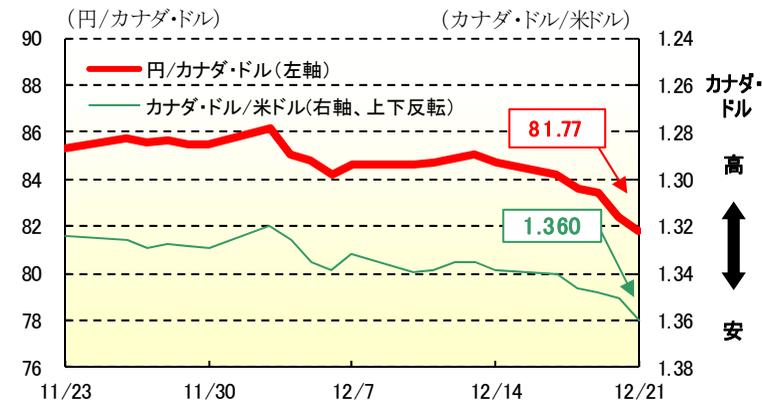
【2】今週の見通し

今週は、カナダでは特段重要な経済指標の発表は予定されていません。注目は引き続き、株価や原油価格の動きになりそうです。

足元では、世界経済減速懸念などを受け、市場のリスク回避姿勢が強まっており、株価、原油価格が下落しています。米政府機関の一部閉鎖などの悪材料も出てきており、カナダの金利、通貨の下押し材料になりそうです。

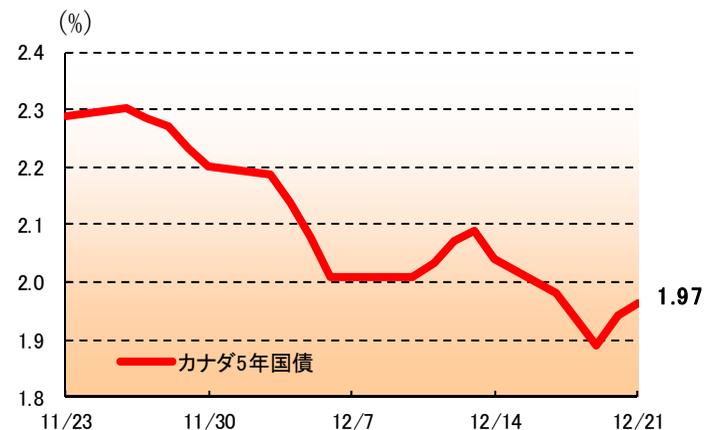
また、米国の利上げペースの鈍化、軟調なインフレ指標、原油価格の下落などを受けて、カナダ銀行の利上げペースの鈍化観測も高まっており、カナダ金利の低下圧力を強めるとともに、通貨の上値を抑える要因になることが考えられます。

【カナダ・ドル 為替推移】 (2018年11月23日～2018年12月21日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。
(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

【カナダ 金利推移】 (2018年11月23日～2018年12月21日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <https://www.daiwa-am.co.jp/>